

NHKスペシャル

シリーズ 大江戸

2020年のオリンピック・パラリンピックを前に、国内外から熱い注目を集める東京。そのルーツの町「江戸」をめぐり、新たな発見や研究成果が相次いでいる。150年前、1868年に消えた“日本史上最大のロスト・シティー”江戸。その知られざる姿を、ドキュメンタリーや4KCG、ドラマ表現など多彩な演出で描いていく。

【番組ナビゲーター】 松平健 木村佳乃 溝端淳平



●第1集 世界最大!! サムライが築いた“水の都”

4月29日(日) 午後9:00~9:55 (総合テレビ)

3月12日(月) 午後1:00~1:55ほか (スーパーハイビジョン)

江戸は、徳川家康が幕府を開いてから100年ほどで、世界最多の100万の人口を抱える巨大都市となった。その原動力はどこにあったのか? 最近、江戸の都市計画を描いた最古の図面や、幕末の写真ネガが見つかり、その変遷が分かってきた。江戸は水を駆使して造り上げた、世界に類をみないユニークな都市だった。“水の都”江戸誕生の秘密に迫る。



●第2集 驚異の成長!! あきんどが花開かせた“商都”

5月27日(日) 午後9:00~9:49 (総合テレビ)

3月16日(金) 午後1:00~1:49ほか (スーパーハイビジョン)

過去2000年間の世界経済を分析した国際共同研究によって、江戸中期の経済成長率(1人あたり)が、同時期の世界トップクラスだったことが判明した。貿易を制限していた日本で、経済発展を支えたものは何か? 日本橋の商家に眠っていた記録などから、江戸に広がっていた庶民経済と、激しい競争社会の中で生まれた、独自のセーフティネットを探る。

●第3集 不屈の復興!! 町人が闘った“大火の都”

7月1日(日) 午後9:00~9:49 (総合テレビ)

3月21日(水) 午後1:00~1:49ほか (スーパーハイビジョン)

江戸は3年に一度の割合で大火に襲われる、世界に例のない“火災の町”だった。最新の研究では、炎の竜巻=火災旋風が猛威をふるっていたことも判明した。人々はこの災厄の町とどう向き合い、復興を成し遂げたのか? 幕府による江戸大改造や、町民たちが生み出した防災対策の数々。それらの成果を、最新シミュレーションから解き明かす。

※タイトルはいずれも仮題

<関連情報>

NHKスペシャル関連企画・大江戸展

会場：江戸東京博物館 会期：4月1日(日)~5月13日(日)